

平成26年度 第47回細胞検査士資格認定試験学科筆記試験

その1 総論

- 正しい組み合わせはどれですか。
 - サルコイドーシス ————— 星状小体 1. A. B
 - 顆粒膜細胞腫 ————— アピッツ小体 2. A. E
 - 膀胱マラコプラキア ————— ラインケ結晶 3. B. C
 - 形質細胞腫 ————— マロリー小体 4. C. D
 - クラミジア ————— 星雲状封入体 5. D. E
- 細胞周期において正しいものはどれですか。
 - S 期終了後からM 期開始までの期間をG 1 期と呼ぶ。 1. A. B
 - p 27 は細胞周期を正に制御する。 2. A. E
 - 核分裂はS 期に行われる。 3. B. C
 - 細胞周期の制御にはcyclin やcdk (cyclin-dependent kinase) が関与する。 4. C. D
 - G 1 cyclin 複合体は主にRb タンパク質を標的にする。 5. D. E
- 不適切問題のため削除しました。

リンパ球表面マーカーについて問う問題でしたが、試験終了後、正解の中に表面マーカー以外のものが含まれていることが判明したため不適切問題として全員正解にしました。
- 核内細胞質封入体がみられる腫瘍はどれですか。
 - 髄膜腫 1. A. B
 - 皮膚基底細胞癌 2. A. E
 - 横紋筋肉腫 3. B. C
 - 甲状腺濾胞癌 4. C. D
 - 肝細胞癌 5. D. E
- 正しいものはどれですか。
 - 腫瘍の大きさと悪性度には正の相関がみられる。 1. A. B
 - 高分化な悪性腫瘍は、細胞・組織の異型が強い。 2. A. E
 - 低分化な悪性腫瘍は、通常悪性度が低い。 3. B. C
 - 高分化な悪性腫瘍は、発生母地との組織学的類似性が高い。 4. C. D
 - 未分化な悪性腫瘍は、通常放射線感受性が高い。 5. D. E
- 正しいものはどれですか。
 - 肺腺癌ではALK 遺伝子異常を持つものが多い。 1. A. B
 - 多発性骨髄腫では免疫グロブリン遺伝子再構成が見られる。 2. A. E
 - 慢性骨髄性白血病では融合 (キメラ) 遺伝子BCR-ABL が見られる。 3. B. C
 - 家族性大腸腺腫症では生まれながらにしてk -RAS 遺伝子変異を持つ。 4. C. D
 - 肺癌は多段階発癌説に従い、大腸癌は多段階発癌の関与はない。 5. D. E
- ラングハンス (Langhans) 型巨細胞の出現を特徴とするものはどれですか。
 - 伝染性単核球症 1. A. B
 - ネコひっかき病 2. A. E
 - サルコイドーシス 3. B. C
 - 壊死性リンパ節炎 4. C. D
 - 皮膚病性リンパ節症 5. D. E
- 一般的にホルモン療法が有効とされる癌はどれですか。
 - 卵巣癌 1. A. B
 - 胆嚢癌 2. A. E
 - 甲状腺髄様癌 3. B. C
 - 乳癌 4. C. D
 - 子宮内膜癌 5. D. E
- 筋上皮細胞を持たないものはどれですか。
 - 汗腺 1. A. B
 - 乳腺 2. A. E
 - 甲状腺 3. B. C

- D. 前立腺 4. C. D
E. 唾液腺 5. D. E
10. 細胞内小器官について誤っているものはどれですか。
A. 粗面小胞体ではタンパク合成を行う。 1. A. B
B. ライソゾーム (リソゾーム) は加水分解酵素を含んでいる。 2. A. E
C. 滑面小胞体はアポトーシスに深く関与している。 3. B. C
D. 核小体にはDNA が多く含まれる。 4. C. D
E. ミトコンドリアは細胞内エネルギー産生に関与している。 5. D. E
11. 誤っている組み合わせはどれですか。
A. ムコール症 ————— 細菌感染 ————— 肺炎 1. A. B
B. クリプトコッカス症 ————— 真菌感染 ————— 肉芽腫性病変 2. A. E
C. アメーバ赤痢 ————— 原虫症 ————— 肝膿瘍 3. B. C
D. クロイツフェルト・ヤコブ病 — プリオン ————— 海綿状脳症 4. C. D
E. 伝染性単核症 ————— 原虫症 ————— 異型リンパ球 5. D. E
12. 誤っているものはどれですか。
A. 空胞変性における細胞内空胞は通常PAS 反応陽性である。 1. A. B
B. 肝細胞のアルコール硝子体はサイトケラチンと考えられている。 2. A. E
C. 粘液変性は子宮平滑筋腫に見られる。 3. B. C
D. 脂肪変性は肝細胞に見られる。 4. C. D
E. AL アミロイドーシスは免疫グロブリン軽鎖の細胞内蓄積により起こる。 5. D. E
13. 誤っているものはどれですか。
A. 上皮性悪性腫瘍は癌腫である。 1. A. B
B. 非上皮性悪性腫瘍は肉腫である。 2. A. E
C. 悪性腫瘍の特徴として遠隔転移があげられる。 3. B. C
D. 良性腫瘍であれば再発はしない。 4. C. D
E. 腫瘍で細胞異型が軽度であれば良性としてよい。 5. D. E
14. 誤っているものはどれですか。
A. 壊死は生理的要因でおこる。 1. A. B
B. 壊死により細胞の構造が崩壊し、炎症反応が引き起こされる。 2. A. E
C. アポトーシスは、核の凝縮から始まる。 3. B. C
D. アポトーシスは生理的要因、病的要因の両方でおこる。 4. C. D
E. 老化細胞は壊死により脱落する。 5. D. E
15. 腫瘍マーカーについて正しい組み合わせはどれですか。
1. AFP ————— 前立腺癌
2. CA 19 - 9 ————— 卵巣癌
3. CA 125 ————— 膝癌
4. ProGRP ————— 肺小細胞癌
5. PSA ————— 肝細胞癌
16. 退行性病変はどれですか。
1. Hyperplasia
2. Regeneration
3. Hypertrophy
4. Necrosis
5. Metaplasia
17. 成人に多く発生する腫瘍はどれですか。
1. 肝芽腫
2. 骨肉腫
3. 横紋筋肉腫
4. 形質細胞腫
5. 上衣腫
18. 転移性脳腫瘍の原発巣で最も多いものはどれですか。
1. 肺

2. 胃
 3. 大腸
 4. 腎臓
 5. 前立腺
19. 誤っている組み合わせはどれですか。
1. 柵状配列 ————— 神経鞘腫
 2. 索状配列 ————— 肝細胞癌
 3. ロゼット配列 ————— 上衣腫
 4. リボン状配列 ————— カルチノイド
 5. ニシンの骨状配列 ————— 骨肉腫
20. 誤っているものはどれですか。
1. 閉経が遅いほど乳癌発生率が高くなる。
 2. エストロゲン製剤は乳癌発生の外因である。
 3. 欧米人に比べ胃癌の発生が日本人で高いのは遺伝的要素が大きい。
 4. 子宮頸癌の発生原因は外因によることが多い。
 5. リンチ症候群患者には大腸癌、子宮内膜癌が高率に発生する。

その2 技術

1. 正しいものはどれですか。

A. 血性胸水を対象とした抗凝固剤の使用は細胞変性を防ぐ作用がある。	1. A. B
B. 一般に捺印法は穿刺吸引法と比較し、細胞採取量が少ない。	2. A. E
C. セルブロック法で標本を作成する場合、薄切作業は不要である。	3. B. C
D. コロジオンバッグ法は液状検体に有用である。	4. C. D
E. 細胞転写法は、Papanicolaou 染色と同一細胞の免疫染色（免疫細胞化学染色）が可能である。	5. D. E
2. 湿固定前に乾燥した標本について正しいものはどれですか。

A. 腺細胞は収縮する。	1. A. B
B. 細胞質がライトグリーンに濃染しやすくなる。	2. A. E
C. 再水和法では生理食塩水を用いる。	3. B. C
D. 乾燥後アルコール固定した標本は、再水和法が無効である。	4. C. D
E. 再水和法は1週間以内に処理を行えばよい。	5. D. E
3. 穿刺吸引細胞診における検体採取および処理について正しいものはどれですか。

A. 穿刺吸引後に患者から針を抜く際はシリンジを引いた状態で抜く。	1. A. B
B. ガラスに吹付ける際は、一度注射筒から針を外し空気を入れ直し行う。	2. A. E
C. Papanicolaou 染色用の検体は、ガラスに吹付けた後95% エタノールに素早く浸す。	3. B. C
D. 採取量が多い場合は2枚のスライドガラスで上下左右に均一化しすり合わせる。	4. C. D
E. 検体処理後は注射針を精製水で洗浄後、標本を作製する。	5. D. E
4. Papanicolaou 染色について正しいものはどれですか。

A. オレンジG やエオジンY, ライトグリーンは酸性色素であり、正に荷電する。	1. A. B
B. エオジンY, ライトグリーンは非水溶性である。	2. A. E
C. Gill (ギル) のヘマトキシリンには酸化剤として過ヨウ素酸が含まれる。	3. B. C
D. 分子量の大きさはオレンジG < エオジンY < ライトグリーンの順である。	4. C. D
E. OG - 6 やEA - 50 にはリントングステン酸が含まれる。	5. D. E
5. Giemsa 染色について正しいものはどれですか。

A. 塗抹後、温風で急速乾燥させる。	1. A. B
B. Giemsa 液の組成はアズールII, エオジン, メタノールである。	2. A. E
C. 基底膜物質や間質性粘液が異染性を示してくる。	3. B. C
D. 染めすぎた時は塩酸水で脱色するとよい。	4. C. D
E. May-Giemsa 染色と比べて、細胞質内の顆粒観察に適している。	5. D. E
6. キシレンについて正しいものはどれですか。

A. 胎児への悪影響を起こすことがある。	1. A. B
B. 特定化学物質に指定されている。	2. A. E

- C. 直接手指で触れても経皮吸収されにくい。 3. B. C
D. 作業環境測定は1年に1回実施する必要がある。 4. C. D
E. 健康診断の際は尿中のメチル馬尿酸量の検査が必要である。 5. D. E
7. ホルマリンを取り扱う環境について正しいものはどれですか。
A. 作業主任者は特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習を
修了する必要がある。 1. A. B
2. A. E
B. ホルマリンを扱う部屋の管理濃度は0.01ppm以下である。 3. B. C
C. 6ヶ月に一度、作業主任者による作業環境測定が必要である。 4. C. D
D. 換気装置が設置されている場所では呼吸用保護具を備える必要はない。 5. D. E
E. ホルマリンは酸化中和処理を行えば下水に廃棄して良い。
8. Papanicolaou 染色について誤っているものはどれですか。
A. ヘマトキシリンの染色時間は液の使用頻度や室温によって異なることがある。 1. A. B
B. 核染色後のヘマトキシリンは3% アンモニア・アルコールで脱色する。 2. A. E
C. Gill (ギル) のヘマトキシリンには酸化第二水銀が含まれる。 3. B. C
D. EA に含まれるビスマルクブラウンは類脂肪を染め、細胞質染色には関与しない。 4. C. D
E. 細胞の透過性がよい点が特徴である。 5. D. E
9. 特殊染色について誤っているものはどれですか。
A. PAS 反応の酸化にはヨウ素酸ナトリウムを用いる。 1. A. B
B. Schiff 試薬には塩基性フクシンが含まれる。 2. A. E
C. Alcian blue は正に荷電し、負に荷電しているカルボキシル基と反応する。 3. B. C
D. Schiff 試薬の劣化はホルマリンに滴下して確認する。 4. C. D
E. Sudan (ズダン) III 染色ではアルコール固定が推奨される。 5. D. E
10. FISH 法について誤っているものはどれですか。
A. 細胞周期のM期のみ判定できる。 1. A. B
B. ゲノムにおけるある特定の遺伝子の欠失を確認できない。 2. A. E
C. 二本鎖DNAを一本鎖DNAに解離させることを熱変性 (denature) と呼ぶ。 3. B. C
D. 染色後、 -20°C で保存することで、蛍光は一定期間保たれる。 4. C. D
E. 蛍光観察は暗室や自然光を遮る措置が必要である。 5. D. E
11. 顕微鏡について誤っているものはどれですか。
A. 微分干渉顕微鏡は無色透明であるが屈折率が異なる試料の観察に用いる。 1. A. B
B. 位相差顕微鏡は無色透明な細胞や金属表面の段差などを観察に用いる。 2. A. E
C. 偏光顕微鏡は岩石の結晶や生物試料中に含まれる結晶物質の観察に用いる。 3. B. C
D. 共焦点レーザー顕微鏡はDNA マイクロアレイの測定に用いる。 4. C. D
E. 実体顕微鏡は対象をそのまま観察する。 5. D. E
12. 引きガラスを用いた標本作製法について正しいものはどれですか。
1. 引きはじめに大きな細胞が集まりやすい。
2. 引きガラスを引く速度が速いと長く引ける。
3. 引きガラスの角度を小さくすると長く引ける。
4. 検体が粘稠性の場合引きガラスを引く速度を早くする。
5. 血液成分が多い場合は検体塗布量を多くする。
13. 顕微鏡について誤っているものはどれですか。
1. 40倍の対物レンズのカラーコードはJIS規格にて青色と規定されている。
2. 対物レンズの開口数の75%程度に開口絞りを調整する。
3. 開口絞りを絞ると、コントラストが増す。
4. 対物レンズの倍率が高いと実視野は小さくなる。
5. 対物レンズの開口数が大きいほど焦点深度は深くなる。
14. 顕微鏡のトラブル対処方法として誤っている組み合わせはどれですか。
1. 黄色色調を呈している _____ フィルターを調整
2. ギラつき _____ 視野絞りを調整
3. 高倍率でのピントがあまい _____ 対物レンズ補正環を調整
4. 視野の一部が欠ける _____ 光軸確認
5. 視野が一つにみえない _____ 眼幅調整と視度調整

15. 誤っているものはどれですか。
1. 子宮頸部スメアでは扁平上皮・円柱上皮境界部 (SCJ) を中心に採取する。
 2. 喀痰は起床直後の採取が適切である。
 3. 自然尿は起床直後の採取が適切である。
 4. 胸水・腹水では採取後直ちに抗凝固剤入り容器に入れて混和する。
 5. 脳脊髄液は蛋白含有量が少なく、細胞の膨化や濃縮、剥離などを起こしやすい。
16. 染色法で誤っている組み合わせはどれですか。
1. PAS 反応 _____ アメーバ
 2. Alcian blue 染色 _____ 酸性ムコ多糖類
 3. Berlin blue 染色 _____ アスベスト小体
 4. Fontana-Masson 染色 _____ pneumocystis jirovecii
 5. Grimelius 染色 _____ カルチノイド腫瘍
17. 免疫染色について誤っているものはどれですか。
1. 内因性ペルオキシダーゼ活性の阻害に、過酸化水素加メタノールを用いる。
 2. アルコール固定標本における抗原賦活法としては、蛋白分解酵素処理が推奨される。
 3. 高分子ポリマー法で行う場合、内因性ビオチンの影響は考慮しなくて良い。
 4. 長期間アルコール固定した標本は、偽陰性となる場合がある。
 5. 一次抗体と二次抗体は異なる動物の抗体を使う。
18. 免疫染色における抗原の局在について、誤っている組み合わせはどれですか。
1. p 63 _____ 核
 2. CD 5 _____ 細胞膜
 3. CD 56 (NCAM) _____ 細胞膜
 4. TTF - 1 (Thyroid transcription factor - 1) _____ 核
 5. ER (Estrogen receptor) _____ 細胞膜
19. 液状化細胞診 (liquid-based cytology : LBC) について誤っているものはどれですか。
1. 不適標本の減少に有効な手法である。
 2. 専用の固定保存液を使用する。
 3. 尿検体には使用できない。
 4. 固定保存液より再度標本作製できる。
 5. 転写法や荷電法を用いて均一な標本作製する。
20. Papanicolaou 染色におけるトラブル対処方法として誤っている組み合わせはどれですか。
1. コーンフレーク状人工産物 _____ 脱水を十分に行う
 2. 細胞の剥離 _____ コーティングスライドガラスの使用
 3. 核染色の細胞質への共染 _____ 核染色の分別を十分に行う
 4. 脱水・透徹不良 _____ モレキュラーシーブ使用
 5. 細胞や菌などの混入 _____ 固定液・染色液の濾過や交換

その3 胸腹水・その他

1. 浸潤性乳管癌の治療について、正しいものはどれですか。
- A. HER 2 遺伝子検査の結果、Her 2 / CEP 17 シグナル比が1.0 であった場合、ハーセプチンの投与対象となる。 1. A. B
 - B. HER 2 免疫染色の結果がスコア1 +の場合、ハーセプチンの投与対象となる。 2. A. E
 - C. 手術術式は拡大乳房切断術が最も多い。 3. B. C
 - D. HER 2 スコア0, ER / PgR 免疫染色の結果がいずれも陰性の場合、化学療法が第一選択となる。 4. C. D
 - E. 術中迅速でセンチネルリンパ節転移がある場合、腋窩リンパ節郭清を行う。 5. D. E
2. 正しいものはどれですか。
- A. バーキットリンパ腫はCD 10 陽性である。 1. A. B
 - B. 形質細胞骨髄腫はCD 5 陽性である。 2. A. E
 - C. 古典的ホジキンリンパ腫のホジキン細胞はCD 20 陽性である。 3. B. C
 - D. 濾胞性リンパ腫では11番染色体と14番染色体の転座が認められるものが多い。 4. C. D
 - E. 血管免疫芽球形T細胞リンパ腫では淡明細胞が出現する。 5. D. E
3. 膀胱内薬物注入療法 (BCG 療法) による腫瘍細胞の変化 (変性) はどれですか。

- A. 多核化 1. A. B
 B. 核の濃縮 2. A. E
 C. 細胞質の変性空胞 3. B. C
 D. 細胞質の角化 4. C. D
 E. 核小体の明瞭化 5. D. E
4. 誤っているものはどれですか。
 A. 骨肉腫の好発年齢は10歳代である。 1. A. B
 B. 骨肉腫の好発部位は骨幹端である。 2. A. E
 C. 軟骨肉腫では類円形の細胞が主体である。 3. B. C
 D. 軟骨肉腫の好発年齢は10歳代である。 4. C. D
 E. 滑膜肉腫の組織像は単相性である。 5. D. E
5. 誤っているものはどれですか。
 A. Pilocytic astrocytoma はRosenthal fiber の出現が特徴である。 1. A. B
 B. Oligodendroglioma はchicken wire 様の血管網が特徴である。 2. A. E
 C. Astrocytoma は核周囲の明庭が特徴である。 3. B. C
 D. Meningioma には遺伝子異常はみられない。 4. C. D
 E. AIDS 患者の中脳神経原発のリンパ腫はEpstein-Barr ウイルスによって誘発される。 5. D. E
6. 体腔液細胞診で誤っているものはどれですか。
 A. 遺伝子検査の対象となる。 1. A. B
 B. 癌の早期発見に有用である。 2. A. E
 C. 濾出液には腫瘍細胞が多く含まれる。 3. B. C
 D. 患者の体位変換後に採取するとよい。 4. C. D
 E. 腹腔洗浄細胞診は胃癌の進行度分類に関与する。 5. D. E
7. 誤っているものはどれですか。
 A. 乳管癌と小葉癌の鑑別にCD 10 染色が有用である。 1. A. B
 B. 非浸潤性乳管癌と浸潤性乳管癌の鑑別にp 63 染色が有用である。 2. A. E
 C. 筋上皮細胞は乳管内乳頭腫と非浸潤性乳管癌の鑑別に有用ではない。 3. B. C
 D. 石灰化は乳腺の良性病変でも認められることがある。 4. C. D
 E. 乳腺線維腺腫は閉経後の女性に好発する。 5. D. E
8. 誤っているものはどれですか。
 A. 日本人の悪性リンパ腫の中で最も多い組織型は、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 (DLBCL) である。 1. A. B
 B. バーキットリンパ腫の腫瘍細胞は多核のものが多い。 3. B. C
 C. ホジキンリンパ腫はリンパ節外に発生することが多い。 4. C. D
 D. 組織球性壊死性リンパ節炎 (菊池・藤本病) では大型の異型を伴うリンパ球が見られる。 5. D. E
 E. 伝染性単核球症はEpstein-Barr ウイルス感染症である。
9. 誤っているものはどれですか。
 A. 急性前骨髄性白血病は播種性血管内凝固を合併しにくい。 1. A. B
 B. アウエル小体が複数の束になっているものをファゴット細胞という。 2. A. E
 C. 急性前骨髄性白血病は融合遺伝子PML / RAR α が確認される。 3. B. C
 D. 慢性骨髄性白血病の臨床像は慢性期, 移行期, 急性転化の3病期に分けられる。 4. C. D
 E. 慢性骨髄性白血病はETV 6 - NTRK 3 融合遺伝子と関連している。 5. D. E
10. T 細胞系造血器腫瘍はどれですか。
 1. 濾胞性リンパ腫
 2. マントル細胞リンパ腫
 3. 有毛細胞白血病
 4. 菌状息肉症
 5. バーキットリンパ腫
11. 正しいものはどれですか。
 1. 相対的エストロゲン過剰が乳腺症の原因の1つである。

2. 線維腺腫は間質成分の増殖のみが見られる.
 3. 乳頭腺管癌は細胞質内腺腔の形成が特徴的である.
 4. 悪性葉状腫瘍では癌の部分と肉腫の部分とが存在する.
 5. 男性乳癌は浸潤性小葉癌が多い.
12. 正しいものはどれですか.
1. プロラクチン産生腫瘍は下垂体後葉に発生する.
 2. 下垂体のFSH 産生腫瘍はクッシング症の原因である.
 3. 頭蓋咽頭腫は下垂体前葉の好酸性細胞由来である.
 4. 慢性甲状腺炎では背景に類上皮細胞が見られる.
 5. 甲状腺髄様癌は間質にアミロイド沈着が見られる.
13. 正しいものはどれですか.
1. 成人T 細胞性白血病はHTLV- IIIの感染が原因である.
 2. 多発性骨髄腫は、骨髄造血細胞の腫瘍である.
 3. 形質細胞はB 細胞が分化した細胞である.
 4. 主にT 細胞は骨髄、B 細胞は胸腺で作られる.
 5. セザリー細胞はB 細胞由来である.
14. 正しい組み合わせはどれですか.
1. 副甲状腺腫瘍 ————— 血中カルシウム低下
 2. 甲状腺髄様癌 ————— 血中カルシトニン低下
 3. 副腎皮質腫瘍 ————— 血中のACTH 低下
 4. 褐色細胞腫 ————— 血中の17 - OHCS 上昇
 5. 神経芽細胞腫 ————— 血中のバニルマンデル酸 (VMA) 上昇
15. 髄膜腫の組織型について誤っているものはどれですか.
1. 髄膜皮性髄膜腫
 2. 線維性髄膜腫
 3. 粘液産生性髄膜腫
 4. 分泌性髄膜腫
 5. 退形成性髄膜腫
16. 上皮型中皮腫と腺癌の鑑別に有用なマーカーとして誤っているものはどれですか.
1. Calretinin
 2. D 2 - 40
 3. CEA
 4. Ber - EP 4
 5. Cytokeratin AE 1 / AE 3
17. 誤っているものはどれですか.
1. 膀胱原発の扁平上皮癌は角化型が多い.
 2. 尿管由来の悪性腫瘍は尿路上皮癌が多い.
 3. BCG 治療中の尿では類上皮細胞が増加する.
 4. 回腸導管尿では変性した円柱上皮細胞が出現する.
 5. カテーテル尿細胞診は腫瘍発生部位の検索に有用である.
18. 甲状腺と副甲状腺の細胞診について誤っているものはどれですか.
1. 甲状腺濾胞性腫瘍と副甲状腺腺腫との鑑別はときに困難である.
 2. 甲状腺濾胞性腫瘍ではクロモグラニンA は陽性である.
 3. 副甲状腺機能亢進では副甲状腺細胞内の脂質が減少する.
 4. 副甲状腺腺腫と副甲状腺過形成との鑑別は困難である.
 5. 甲状腺細胞診の報告様式にはベセスダシステムがある.
19. 誤っているものはどれですか.
1. 髄芽腫は小児の小脳に好発する.
 2. 髄芽腫の細胞は細胞質が豊富である.
 3. 神経鞘腫は小脳橋角部腫瘍の代表的疾患である.
 4. 下垂体腺腫は小型類円形核が特徴的である.
 5. 下垂体腺腫は下垂体前葉の腺細胞由来である.

20. 誤っている組み合わせはどれですか。
1. 乳汁漏出症 ————— プロラクチン高値
 2. 尿崩症 ————— 抗利尿ホルモン高値
 3. 悪性貧血 ————— ガストリン高値
 4. クレチン症 ————— トリヨードサイロニン低値
 5. アジソン病 ————— コルチゾール低値

その4 呼吸器

1. 正しいものどれですか。

A. I型肺胞上皮はガス交換に関与する。	1. A. B
B. 呼吸細気管支には杯細胞が分布する。	2. A. E
C. 生理的には肺胞腔内には細胞が存在しない。	3. B. C
D. 気管支粘膜にみられる気管支腺は粘液腺である。	4. C. D
E. 呼吸細気管支には線毛は存在しない。	5. D. E
2. 肺病巣から採取した細胞診で、正しいものはどれですか。

A. 細胞検体を用いて遺伝子検査をすることは困難である。	1. A. B
B. 肺癌の細胞診においては小細胞癌か非小細胞癌かの判断に加え、腺癌か扁平上皮癌かの判断も求められる。	2. A. E
C. 腺癌か扁平上皮癌か判断に迷う場合には、非小細胞癌との判断にとどめるのが妥当である。	3. B. C
D. 腺癌細胞の場合、肺原発と他臓器からの転移との鑑別には、CEAの免疫染色が有用である。	4. C. D
E. 偶然発見された若年者の境界明瞭な腫瘍性病変は、カルチノイドであることが多い。	5. D. E
3. 肺癌の組織型と細胞型について正しいものはどれですか。

A. 腺扁平上皮癌は扁平上皮癌成分10%以上、腺癌成分5%以上を含むものである。	1. A. B
B. 肺芽腫には時に骨肉腫が混在する。	2. A. E
C. 定型的カルチノイドでは壊死はみられない。	3. B. C
D. 粘表皮癌では角化を認める。	4. C. D
E. 小細胞癌では細胞境界は明瞭である。	5. D. E
4. 多形癌として正しいものはどれですか。

A. 異所性成分を含む肉腫成分を有する。	1. A. B
B. 紡錘細胞が腫瘍全体の20%以上を占める。	2. A. E
C. 小細胞癌の成分を有するものもある。	3. B. C
D. 紡錘細胞と巨細胞からなる腫瘍もある。	4. C. D
E. 低分化な非小細胞癌である。	5. D. E
5. 肺扁平上皮癌について正しいものはどれですか。

A. 非角化型の核質は微細顆粒状である。	1. A. B
B. 細胞相互封入所見が見られることは稀である。	2. A. E
C. ゴースト細胞では核クロマチンは微細顆粒状である。	3. B. C
D. 角化型の核は、大小不同が著しく核縁は不均等に肥厚する。	4. C. D
E. 核クロマチンは粗顆粒状の他にしばしば濃縮状を呈する。	5. D. E
6. 原発性肺腺癌の細胞で陰性となることの多い抗体はどれですか。

A. Napsin A	1. A. B
B. CK 7	2. A. E
C. CDX - 2	3. B. C
D. CK 20	4. C. D
E. TTF - 1	5. D. E
7. 転移性肺腫瘍について正しいものはどれですか。

A. 大腸癌の肺転移はしばしば壊死が目立つ。	1. A. B
B. 最も頻度が高いのはリンパ行性転移である。	2. A. E
C. CK 5/6を用いて肺癌と転移性肺腫瘍を鑑別出来る。	3. B. C
D. p 40を用いて肺癌と転移性肺腫瘍を鑑別出来る。	4. C. D
E. 肺リンパ管症は胃癌、乳癌に多い。	5. D. E
8. 肺サーファクタントについて誤っているものはどれですか。

- A. おもにリン脂質からなる. 1. A. B
B. 生後より分泌が開始される. 2. A. E
C. 肺胞の表面張力を維持させるためのものである. 3. B. C
D. 未熟な肺ではサーファクタントが欠乏している. 4. C. D
E. サーファクタントはII型肺胞上皮でつくられる. 5. D. E
9. ニューモシスチス肺炎の組織像として、誤っているものはどれですか.
A. 肺胞腔内の好酸性、無細胞性物質 1. A. B
B. 肺胞腔内の泡沫状滲出物 2. A. E
C. 肺胞腔内のコレステロール・クレフト 3. B. C
D. 肺胞腔内の好中球浸潤 4. C. D
E. 肺胞中隔のリンパ球、形質細胞浸潤 5. D. E
10. 気管支擦過細胞診で線毛円柱上皮に混在して核クロマチンの増量した結合性の強い細胞集塊が認められた、細胞質も観察され、核の異型も乏しかった。最も考えられる細胞はどれですか。
1. リンパ球
2. 小細胞癌
3. 扁平上皮癌
4. 基底細胞増生
5. 軽度異型扁平上皮細胞
11. 肺癌で扁平上皮癌よりも腺癌に認められる所見として正しいものはどれですか。
1. 壊死性背景
2. 核縁の切れ込み
3. 核、細胞の大小不同
4. 細胞質の同心円状層構造
5. 核クロマチンの粗大凝集
12. 大細胞神経内分泌癌について正しいものはどれですか。
1. 通常壊死はみられない。
2. 小細胞癌との鑑別は容易である。
3. 通常ロゼット様配列はみられない。
4. 核分裂像は2 mm²中に11 個以上みられる。
5. 核クロマチンは微細顆粒状のパターンを示す。
13. 誤っているものはどれですか。
1. 石灰化小体は、PAS 反応陽性である。
2. 組織球は、含鉄小体を貪食することができない。
3. 喀痰中の石綿繊維には、蛋白質が付着していることが多い。
4. 食物残渣に由来する細胞は、シート状で結合が強い。
5. シャルコー・ライデン結晶は、好酸球の崩壊物質由来である。
14. 誤っているものはどれですか。
1. 真菌症では肺に類上皮細胞肉芽腫が形成される。
2. 結核菌の証明にはpolymerase chain reaction (PCR) が必須とされる。
3. CCP (Ciliocytophthoria) 細胞はウイルス感染でみられる。
4. サイトメガロウイルス感染では核内封入体がみられる。
5. Aspergillus fumigatus の証明にはGrocott 染色が有用である。
15. 集団検診における喀痰細胞診判定に関して、誤っているものはどれですか。
1. 集団検診における判定区分C に相当する異型扁平上皮の細胞判定は陰性である。
2. 肺癌検診の喀痰細胞診は中枢型の扁平上皮癌がターゲットとなる。
3. 肺癌検診では3 日間、蓄痰法で行う。
4. 喀痰標本に塵埃細胞がみられない場合は、材料不適と判断する。
5. 喀痰細胞判定は全標本中の最も優勢な部分によって判定する。
16. 扁平上皮化生細胞について誤っているものはどれですか。
1. 高度喫煙者に多く見られる。
2. 非可逆的反応により出現する。
3. 口腔内の扁平上皮細胞より小さく、基底細胞よりも大きい。

4. 早期の扁平上皮癌と異型扁平上皮との鑑別が困難なことがある。
5. 扁平上皮化生を発生母地とする肺癌の頻度は低いと考えられている。
17. 誤っているものはどれですか。
1. 軽度異型扁平上皮では2核細胞は認められない。
 2. 中等度異型扁平上皮では多核細胞が時々みられる。
 3. 高度異型扁平上皮では多核細胞が高頻度で認められる。
 4. 軽度異型扁平上皮には病的意義はないと考えられている。
 5. 高度異型扁平上皮には癌が含まれる。
18. 誤っているものはどれですか。
1. EGFR 遺伝子の突然変異がみられる肺癌の大半は腺癌である。
 2. EGFR 遺伝子の突然変異がみられる腺癌はチロシンキナーゼ阻害薬が奏功することが多い。
 3. ALK 遺伝子の異常は、日本人の肺腺癌の約20%に認められる。
 4. ALK 遺伝子の異常がみられる腺癌はALK 阻害薬が奏功することが多い。
 5. k-RAS 遺伝子の突然変異がみられる頻度は、粘液腺癌のほうが非粘液腺癌より高い。
19. 縦隔腫瘍について誤っているものはどれですか。
1. 神経原性腫瘍は後縦隔に好発する。
 2. 胚細胞腫瘍は前縦隔に好発する。
 3. 小児において頻度の高いものは、悪性リンパ腫と胚細胞腫瘍である。
 4. B3型胸腺腫は低悪性度腫瘍に相当する。
 5. A型胸腺腫ではリンパ球は少ない。
20. 小細胞癌について誤っているものはどれですか。
1. 細胞間結合が弱い。
 2. 背景に壊死を伴う。
 3. 核縁の肥厚がみられる。
 4. ロゼット様配列を認める。
 5. 対細胞形成がみられる。

その5 消化器

1. 口腔領域疾患について正しいものはどれですか。
- | | |
|--------------------------------|---------|
| A. ヘルペスウイルス感染は口腔癌のリスクファクターである。 | 1. A. B |
| B. 白板症では基底細胞が高頻度に出現する。 | 2. A. E |
| C. 苔癬では強い炎症性背景を伴う。 | 3. B. C |
| D. 腫瘍の大半が舌から発生する扁平上皮癌である。 | 4. C. D |
| E. 扁平上皮癌は低分化型が多い。 | 5. D. E |
2. 口腔病変の細胞像の特徴について正しい組み合わせはどれですか。
- | | | | |
|------------|-------|----------------------|---------|
| A. 歯根嚢胞 | ————— | 導管上皮と筋上皮 | 1. A. B |
| B. 扁平上皮乳頭腫 | ————— | 異角化細胞 | 2. A. E |
| C. エナメル上皮腫 | ————— | 棘細胞と円柱状細胞 | 3. B. C |
| D. 悪性黒色腫 | ————— | Giemsa 染色で異染色性（緑色）顆粒 | 4. C. D |
| E. 疣贅性癌 | ————— | コロサイトシス | 5. D. E |
3. 唾液腺腫瘍について正しいものはどれですか。
- | | |
|------------------------------------|---------|
| A. オンコサイトーマはリンパ球性間質を伴う。 | 1. A. B |
| B. 基底細胞腺腫は細胞集塊が基底膜様物質に縁取られている。 | 2. A. E |
| C. 粘表皮癌は粘液産生細胞、扁平上皮細胞、中間型細胞で構成される。 | 3. B. C |
| D. 腺房細胞癌では壊死を伴うことが多い。 | 4. C. D |
| E. 腺様嚢胞癌では大型でクロマチンの増量した細胞が見られる。 | 5. D. E |
4. 食道疾患について正しいものはどれですか。
- | | |
|----------------------------------------|---------|
| A. 胃食道逆流症はバレット食道の原因となる。 | 1. A. B |
| B. 顆粒細胞腫は角化傾向を示す。 | 2. A. E |
| C. リンパ節転移のある食道癌は進行癌と定義される。 | 3. B. C |
| D. Epstein-Barr (EB) ウイルス感染は乳頭腫の原因となる。 | 4. C. D |
| E. 異所性胃粘膜は腺癌の発生母地となる。 | 5. D. E |
5. 消化器細胞診検体で感染症法に基づく届出が必要な病原体はどれですか。

- A. カンジダ
B. ヘルペス
C. ジアルジア (ランブル鞭毛虫)
D. アメーバ赤痢
E. 肝吸虫
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
6. 肝胆膵疾患において正しいものはどれですか。
A. 肝内胆管癌の多くは肝硬変症を合併している。
B. 肝外胆管癌は十二指腸乳頭部癌より予後が良好である。
C. 胆嚢癌における術中腹腔洗浄細胞診陽性は遠隔転移ありと判定される。
D. 胆管拡張を伴わない膵・胆管合流異常症は胆嚢癌の危険因子である。
E. 糖尿病は膵癌の危険因子である。
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
7. 胆嚢について正しいものはどれですか。
A. 固有筋層に相当する部分は線維筋層と呼ばれる。
B. 上皮は単層円柱上皮からなる。
C. 広基性のポリープは癌の頻度が高い。
D. コレステロールポリープは粘膜固有層にリンパ球の集簇をみとめる。
E. 胆嚢癌は閉塞性黄疸で発見されることが多い。
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
8. 膵腫瘍で女性に好発するものはどれですか。
A. 漿液性嚢胞腫瘍
B. Solid-pseudopapillary neoplasm
C. 膵管内乳頭粘液性腫瘍
D. 浸潤性膵管癌
E. 膵芽腫
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
9. 膵管内乳頭粘液性腫瘍について正しいものはどれですか。
A. 浸潤癌も含まれる。
B. びまん性平坦状には増殖しない。
C. 主膵管非拡張像はみられない。
D. 好酸性の細胞が増殖することはない。
E. 腸型と胃型の鑑別にMUC 2 免疫染色が有用である。
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
10. ワルチン腫瘍について誤っているものはどれですか。
A. 顎下腺に最も多く発生する。
B. 多形腺腫よりも発生頻度が低い。
C. 肉眼的に境界明瞭である。
D. 細胞診では背景にリンパ球が多い。
E. 細胞診では壊死性背景を認めることはない。
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
11. 胃の細胞診について誤っているものはどれですか。
A. Helicobacter pylori の観察にはGiemsa 染色が適している。
B. 壁細胞にはミトコンドリアが豊富である。
C. 腸上皮化生と印環細胞癌との鑑別は困難である。
D. 胃癌の術中腹腔洗浄細胞診で疑陽性の場合にはCY 1 と記載する。
E. GIST に対するEUS-FNA (内視鏡超音波下穿刺吸引細胞診) は禁忌である。
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
12. 胃のMALT リンパ腫で誤っているものはどれですか。
A. B 細胞性リンパ腫である。
B. Helicobacter pylori と関連がある。
C. 腺管内への破壊性増殖がみられる。
D. 高悪性度のものが多い。
E. 治療の第一選択は胃切除術である。
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D
5. D. E
13. 大腸疾患について誤っているものはどれですか。
A. 偽膜性大腸炎の原因として抗生物質が挙げられる。
B. 潰瘍性大腸炎は癌化する可能性がある。
C. クロウン病では非乾酪性肉芽腫を認める。
D. 虚血性大腸炎は直腸に好発する。
1. A. B
2. A. E
3. B. C
4. C. D

- E. リンパ節転移のある結腸癌はDukes 分類のA に相当する. 5. D. E
14. 高分化型肝細胞癌の細胞診所見で頻度の低いものはどれですか.
- A. 脂肪化 1. A. B
 - B. 多核化 2. A. E
 - C. 核の大小不同 3. B. C
 - D. 偽腺管構造 4. C. D
 - E. 細胞密度の増加 5. D. E
15. 肝臓腫瘍で誤っているものはどれですか.
- A. 血管腫の穿刺吸引細胞診では肝細胞由来の腫瘍細胞がみられる. 1. A. B
 - B. 血管筋脂肪腫と肝細胞癌の鑑別にHMB 45 免疫染色は有用である. 2. A. E
 - C. 高度異型結節と早期肝細胞癌の細胞学的鑑別は困難である. 3. B. C
 - D. 転移性肝癌（大腸癌）の穿刺吸引細胞診では高円柱状の腫瘍細胞がしばしばみられる. 4. C. D
 - E. 肝内胆管癌では胆汁産生を伴う. 5. D. E
16. 膵液細胞診で腫瘍細胞が採取されにくいものはどれですか.
- A. 膵管内乳頭粘液性腫瘍 1. A. B
 - B. 膵上皮内腫瘍性病変（PanIN） 2. A. E
 - C. 粘液性嚢胞腫瘍 3. B. C
 - D. 神経内分泌腫瘍（G 1） 4. C. D
 - E. 浸潤性膵管癌 5. D. E
17. 膵神経内分泌腫瘍について誤っているものはどれですか.
- A. 機能性腫瘍が多い. 1. A. B
 - B. 細胞診によるSolid-pseudopapillary neoplasm との鑑別は困難である. 2. A. E
 - C. 内視鏡的超音波下穿刺吸引細胞診は診断に有用である. 3. B. C
 - D. 細胞像では索状やリボン状配列がみられる. 4. C. D
 - E. Grade 分類は核分裂像と核異型で評価する. 5. D. E
18. 篩状パターンを特徴とする唾液腺腫瘍について正しいものはどれですか.
1. 筋上皮癌
 2. 粘表皮癌
 3. 腺房細胞癌
 4. 唾液腺導管癌
 5. オンコサイト癌
19. 大腸ポリープについて正しいものはどれですか.
1. 過形成性ポリープは腫瘍である.
 2. 若年性ポリープは成人に発生しない.
 3. 炎症性ポリポーススは癌化しやすい.
 4. 管状腺腫は絨毛腺腫より癌化しやすい.
 5. 家族性大腸腺腫症（FAP）ではAPC 遺伝子変異がみられる.
20. 胆汁細胞診で良悪性の鑑別に有用でないものはどれですか.
1. 核形不整
 2. 大型核小体
 3. 核の配列不整
 4. 核クロマチンの増量
 5. 集塊辺縁の凹凸不整

その6 婦人科

1. 子宮について正しいものはどれですか.
- A. 子宮は両側の傍中腎管（ミュラー管）の融合により形成される. 1. A. B
 - B. 扁平円柱上皮境界（SCJ）は、年齢によって移動する. 2. A. E
 - C. 子宮頸管腺には線毛は見られない. 3. B. C
 - D. 子宮頸管粘液は増殖期初期に増加する. 4. C. D
 - E. 増殖期にはエストロゲン効果はプロゲステロンにより拮抗される. 5. D. E
2. ヘルペス感染症の所見で正しいものはどれですか.

- A. コーヒー豆様の核溝 1. A. B
 B. 多核 2. A. E
 C. すりガラス様の核 3. B. C
 D. 核周囲の明庭 4. C. D
 E. 核分裂像 5. D. E
3. 子宮頸癌について正しいものはどれですか。
 A. 上皮内癌では基底膜の破綻が認められる。 1. A. B
 B. I A 1 期では間質浸潤の深さが基底膜から 3～5mm である。 2. A. E
 C. II B 2 期では、癌が頸部をわずかに超えて広がっている。 3. B. C
 D. III B 期には子宮傍結合組織の癌浸潤による水腎症が含まれる。 4. C. D
 E. IV A 期には膀胱、直腸の粘膜への浸潤を認める。 5. D. E
4. 正しいものはどれですか。
 A. 内膜細胞診において、漿液性腺癌ではときに砂粒体が認められる。 1. A. B
 B. 子宮体癌において、腹水細胞診または腹腔内洗浄細胞診陽性の場合手術進行期分類は III A 期となる。 2. A. E
 C. 内膜細胞診による内膜増殖症の検出率は 80% 以上である。 4. C. D
 D. 内膜細胞診において、不規則増殖内膜と単純型子宮内膜増殖症との鑑別には嚢胞状腺管の存在が参考となる。 5. D. E
 E. 内膜細胞診において、異型内膜増殖症複雑型と G 1 類内膜腺癌との鑑別にはクラスター辺縁の結合性低下（ほつれ）の所見が参考となる。
5. 誤っているものはどれですか。
 A. 閉経後の不正性器出血は、子宮体癌を疑う。 1. A. B
 B. 乳癌術後のタモキシフェンの使用は、子宮体癌と関係がある。 2. A. E
 C. 閉経後の超音波検査での子宮内膜肥厚は、子宮体癌を疑う。 3. B. C
 D. 卵巣癌で内膜細胞診陽性の場合、卵巣癌と子宮体癌の重複癌である。 4. C. D
 E. 子宮頸癌で内膜細胞診陽性の場合、子宮頸癌と子宮体癌の重複癌である。 5. D. E
6. 誤っているものはどれですか。
 A. 月経周期とは月経終了日より起算して、次の月経開始前日までのことである。 1. A. B
 B. 基礎体温は、プロゲステロンの作用によって分泌期に上昇する。 2. A. E
 C. 経口避妊薬はエストロゲンとプロゲステロンの合剤で、子宮内膜の増殖を抑制する。 3. B. C
 D. 卵管癌に特徴的な所見として水様性帯下がみられる。 4. C. D
 E. 子宮内膜症は無症状で発見される場合が多い。 5. D. E
7. 誤っているものはどれですか。
 A. 思春期や更年期では月経不順が高頻度に見られる。 1. A. B
 B. 更年期では FSH は上昇傾向を示すことが多い。 2. A. E
 C. エストロゲンは子宮内膜の分泌期変化に関与する。 3. B. C
 D. 顆粒膜細胞腫は子宮頸癌の罹患リスクを上昇させる。 4. C. D
 E. 多嚢胞性卵巣症候群は不妊の原因となる。 5. D. E
8. 誤っているものはどれですか。
 A. ベセスダシステムでは、CIN 1～3 相当の病変を 2 段階に分類している。 1. A. B
 B. LSIL では CIN 1 と CIN 2 を、HSIL では CIN 3 を推定する。 2. A. E
 C. 細胞診では、異型腺細胞を内頸部由来か内膜由来かを判別することはできない。 3. B. C
 D. CIN 3 以上の病変が認められた際には、子宮頸部円錐切除術や子宮摘出術を行う。 4. C. D
 E. ASC-US と判定された際には、積極的にヒトパピローマウイルス（HPV）DNA 検査を行う。 5. D. E
9. 正しいものはどれですか。
 1. 結核 —— エクソダス
 2. クラミジア感染症 —— ウィンナー状菌糸
 3. カンジダ膣炎 —— クルー・セル
 4. 尖圭コンジローマ —— ツートーンカラー
 5. トリコモナス膣炎 —— キャノンボール
10. 正常子宮内膜腺細胞について誤っているものはどれですか。

1. 増殖期には核の偽重層化がみられる。
 2. 増殖期には核分裂像を認める。
 3. 分泌中期には増殖期に比べ核は円形で小さくなる。
 4. 分泌期初期には内膜腺核下にグリコーゲンを含んだ空胞がみられる。
 5. 閉経後には萎縮し、細胞診では平面的なシート状や、短導管状、短筒状で認められる。
11. 子宮頸部扁平上皮病変の組織学的所見について誤っているものはどれですか。
1. コイロサイトーシスが認められるのみでもCIN 1 と判定する。
 2. CIN 3 はしばしば腺侵襲を伴うが、間質浸潤とは判定しない。
 3. 単一細胞角化が認められれば角化型扁平上皮癌とする。
 4. コンジローマ様癌は、ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染に特徴的な所見を有する扁平上皮癌である。
 5. 疣いぼ状癌は、間質浸潤部の先端が膨張性の上皮突起を形成する高度に分化した扁平上皮癌である。
12. 誤っているものはどれですか。
1. 舟状細胞は低エストロゲン効果を反映している。
 2. エオジン好性指数 (E. I.) が右方移動すると流産が危惧される。
 3. 妊娠中の腔細胞診ではデーデルライン桿菌が増加する。
 4. 産褥期には細胞成熟指数 (M. I.) は右方移動を示す。
 5. 妊娠すると高プロゲステロン型の中層細胞像を呈する。
13. 全胎奇胎について誤っているものはどれですか。
1. 欧米に比して東南アジアでは少ない。
 2. 染色体の核型は46, XX が多い。
 3. 妊娠を契機に発生する。
 4. 血清hCG 値が高い。
 5. 絨毛癌への移行は稀である。
14. 誤っているものはどれですか。
1. クラミジア症は卵管炎の原因となる。
 2. 性器ヘルペスは性器に潰瘍性または水疱性病変を形成する。
 3. 腔カンジダ症を引き起こす真菌の約80 ~ 90% がCandida albicans である。
 4. 尖圭コンジローマはヒトパピローマウイルス (HPV) 31, 33 型の感染が関与している。
 5. 放線菌は子宮内避妊器具 (IUD) との関連性がある。
15. 誤っているものはどれですか。
1. 分葉状内頸腺過形成の病巣の主座は、扁平円柱上皮境界 (SCJ) よりも内頸部側にあることが多い。
 2. コスモサインは、最小偏倚型粘液性腺癌における特徴的な画像所見である。
 3. 子宮頸部上皮内腺癌は、扁平円柱上皮境界 (SCJ) 付近から発生する。
 4. 子宮頸部上皮内腺癌の患者平均年齢は浸潤性腺癌よりも低い。
 5. 子宮頸部上皮内腺癌の発生には、ヒトパピローマウイルス (HPV) 18 型が大きく関与している。
16. 子宮内膜症について誤っているものはどれですか。
1. 骨盤内外に発生する。
 2. 不妊症の原因となる。
 3. 腫瘍マーカーCA 125 値が診断に有用である。
 4. 確定診断は子宮内膜全面搔爬術により行う。
 5. 卵巣に発生した場合は悪性腫瘍の原因となる。
17. 子宮体癌について誤っているものはどれですか。
1. エストロゲンに依存性を示すものはI型である。
 2. I型は、II型に比して予後良好である。
 3. 複雑型子宮内膜異型増殖症は、類内膜腺癌の前駆病変となる。
 4. 扁平上皮への分化は、予後に影響を与えない。
 5. 類内膜腺癌におけるGrade 分類には、細胞異型は考慮されない。
18. 卵巣腫瘍について誤っているものはどれですか。
1. 胚細胞性腫瘍は若年者に多い。
 2. 悪性転化を伴う成熟奇形腫は高齢者に多い。
 3. Krukenberg 腫瘍は転移性卵巣腫瘍である。
 4. 漿液性腺癌は進行癌のことが多い。

5. 子宮内膜症性嚢胞から発生する卵巣腫瘍は顆粒膜細胞腫が多い.
19. 誤っているものはどれですか.
 1. 腔癌では扁平上皮癌が多い.
 2. 卵管癌では漿液性腺癌が多い.
 3. 卵管癌では内膜細胞診は有用である.
 4. 外陰癌は高齢者に好発する.
 5. 子宮頸部と腔に連続した癌は腔癌と診断する.
20. 子宮および卵巣悪性腫瘍の治療法として誤っているものはどれですか.
 1. 子宮頸癌の放射線治療では、外部照射と腔内照射が行われる.
 2. 大量腹水や胸水を認める卵巣癌は、術前化学療法に適応となる.
 3. 子宮頸がんワクチンは、予防と治療に有効である.
 4. 子宮頸部上皮内癌は子宮頸部円錐切除術に適応となる.
 5. 子宮および卵巣悪性腫瘍の化学療法ではプラチナ製剤を第 1 選択とする.